

2月1日：VN指数は大幅反発 (VN-Index +0.75%)

- 1月のベトナム PMI が 50.3 と好不況の分かれ目である 50 を上回ったことも好感され、VN 指数は上昇して取引を開始した。
- 情報技術、小売、化学セクターの上昇にけん引され、市場の投資家心理は良好だった。結果、指数は前場、プラスで終了。
- 後場は、変動があったものの、小幅に上昇。
- セクター別にみると、情報技術、小売、建設・資材セクターが勢いを加速させ、指数の上昇幅を広げた。
- 270 銘柄が上昇、177 銘柄が下落、111 銘柄が変わらずと、全体的に楽観的だった。
- 流動性は 34.7%減の 15.2 兆ドンとなった。

VN30 指数は市場の動きに追随 (VN-30 +0.60%)

- 大型株で構成される VN30 指数は、17 銘柄が上昇し、8 銘柄が下落、5 銘柄が変わらずとなった。
- GVR (+6.92%)はストップ高まで買われ、FPT (+4.39%) も続いた。
- 一方、1%以上下落したのは VPB (-1.29%)と TCB (-1.16%) の 2 銘柄だった。

セクター・個別株の動き

- HVN (-0.40%) は 2023 年第 4 四半期の業績をマイナスで発表した。純収入は前年同期比 23.3%増の 23 兆 8,300 億ドンとなったものの、売上原価は純収入を 8.3%上回った。結果、経費控除後の税引後利益は 1 兆 9,820 億ドンの赤字となった。
- OIL (+0.00%) の 2023 年第 4 四半期決算は不調だった。純収入は 35 兆 7,930 億ドンで、前年同期比 45%増加した。しかし、純収入に比べ売上原価が増加し

たため、364億ドンの損失となった。この結果は主に、原油価格の変動によるものである。

- 外国人投資家は620億ドンの買い越しとなった。PNJ (+0.22%) は2,000億ドンを超え、最も買われた。一方、ビン関連銘柄は売り越し額が多かった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。